

<b>B-2</b>					
主題	養護老人ホームに於ける、コロナ禍の取り組み。				
副題	コロナ禍に負けない職員・利用者と一緒に取り組む感染症予防。廃用予防の取り組み。				
キーワード 1	養護老人ホーム	キーワード 2	リハビリ・アクティビティ	研究(実践)期間	12ヶ月
法人名・事業所名	社福) 同胞互助会 養護老人ホーム偕生園				
発表者(職種)	平岡素(生活支援員)、谷田部賢治(生活相談員)				
共同研究(実践)者	藤原昌子(ボランティアコーディネーター)				
電話	042-541-1236	FAX	042-545-5301		
事業所紹介	<p>昭和 34 開設 140 床の施設です。敷地内には公園や鳥小屋等があり季節を感じられるさくらや梅等の緑もあり、地域の方々との交流も盛んです。</p> <p>また、法人内に特養や在宅サービス事業や、診療所を併設しており、内外の各事業所と連携を図りながら、安心して生活をして頂けるように取り組んでいます。</p>				
<p>《1. 研究(実践)前の状況と課題》</p> <p>当施設は、主に生活の自立している高齢者を対象にした、養護老人ホームではある。近年は入所者の重度化に伴う身体機能低下が課題となっている。加えて、2020 年春からの新型コロナウイルスの流行により、施設では買物通院を含めての外出の制限、面会の停止、交流を伴う行事の中止、講師を招くクラブの中止など、大幅に生活の様式が変動。これらの影響は、特にこれまでは気兼ねなく外出などをされ、地域生活になじんでいた、自立されていた利用者に、活気の低下や QOL の低下など大幅な影響を与えた。長期的なコロナ禍において、利用者の大半は不本意のステイホームの生活を迫られているのが実情である。それにとまなう活気の低下、サルコペニアやフレイルの様相を示している。まだまだ先の見えぬ状況で、心身共に健やかに過ごせる支援方法の確立と実施を試みたい。</p> <p>《2. 研究(実践)の目的ならびに仮説》</p> <p>新しい生活様式(感染症対策)に沿った生活支援の確立。また職員の特技技能、また利用者の個性や技能を活かす事によって、活気が低下してしまった利用者の活動意欲を取り戻すことが出来るか。</p> <p>《3. 具体的な取り組みの内容》</p> <p>新しい生活様式に沿った感染症対策(こまめな手洗い・マスク・手指消毒環境の設置・備品の消毒)を利用者、職員共に遵守する。職員主導のクラブ活動や交流の確立。以前より縮小しながらも、実施可能な行事の実施、オンラインでの面会や交流など、新しい生活様式に沿った催しなどを実施している。</p>					

- (1) 新しい活動の創設。屋上を利用した体操教室、動こう会、フィットネスクラブ。
- (2) 敷地内の庭を利用した畑作りと、料理クラブ。
- (3) オンライン面会。傾聴ボランティア。オンラインでの将棋囲碁の対局。
- (4) 移動スーパーの活用。感染症対策を万全に実施した、衣類買い物（衣類）支援。

#### 《4. 取り組みの結果》

未知の感染症に不安を抱くだけではなく、正しい知識を身に付けて頂き、そのうえで感染症対策を実践して行動する利用者が増えた。クラブ活動の運営協力に、率先して引き受けてくださる利用者もいた。外出制限のなかでも、スーパーが来てくれること・園内で購入環境を整えたことで買い物を楽しむことができ、好みの衣類等を選んで購入する事で安心が得られ、生活の糧になった。予定外の嬉しい結果として、移動スーパーは当初自立者を中心に検討されたものだが、一部介助の必要な方で外部での買い物が困難な方も利用されるようになり、園内で買い物が出来る事で、「自分で選ぶ」「支払いをする」「その場で持ち帰れる」といった楽しみが生まれた。閉じこもりを防ぎ、利用者間のコミュニティの維持または新しい関係構築ができた。

#### 《5. 考察、まとめ》

今回の方向性として、すでにデイサービスなど介護保険サービスを利用しており、ある程度の生活の様式変化がみられない利用者より、むしろ認定を受けておらず、これまでは外出や通院などを自身で行っていた、自立した利用者を対象ととらえ実施している。

もともとクラブ活動に参加されている方は、趣旨を理解され協同で取り組んでくださるが、性格的にそういった活動を好まれない方もおられる。そういった方を巻き込んでの支援を検討実施してきた。その結果、予定対象者以外の利用者にとってもプラスの働きかけが生まれる結果も見られた。

#### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

#### 《7. 参考文献》

- ・改訂版 お年寄りの病気の知識（東京都社会福祉協議会老人福祉部会 2003）
- ・「新型コロナウイルス感染症の感染予防に係る利用者の外出に関する調査（令和2年度）」  
(<https://www.roushikyo.or.jp/> 2021年 6月25日閲覧)
- ・家族と企業を守る 感染症対策ガイドブック（東京海上日勤リスクコンサルティング 編著 2015）

#### 《8. 提案と発信》

未曾有のコロナ禍によって、われわれ職員も、利用者も戸惑いの渦中にある。

感染症予防を念頭に新しい生活様式にそって生活しているが、「いつまで続くのか」という疑問に答えられずに日々を過ごしている。しかしながら、日々の取り組みを研鑽・実践し、発表することで、同様の状況に於かれる養護老人ホームや、他施設においてもコロナ禍を乗り切る一助になればと思う。